

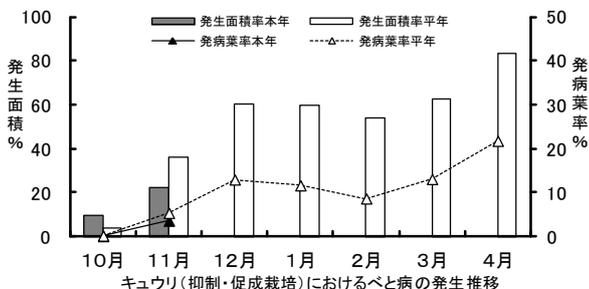
平成28年12月5日

高知県病害虫発生予察11月月報及び予報第9号(12月)
野菜類ダイジェスト版

● 抑制・促成キュウリ(中央部・中西部・西部)

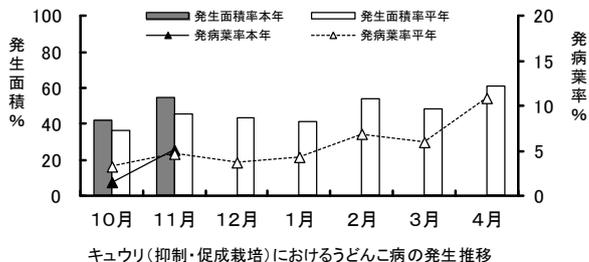
べと病 発生量: やや少

発生面積: 中央部; やや少、中西部; 少、西部; 平年並



うどんこ病 発生量: 平年並

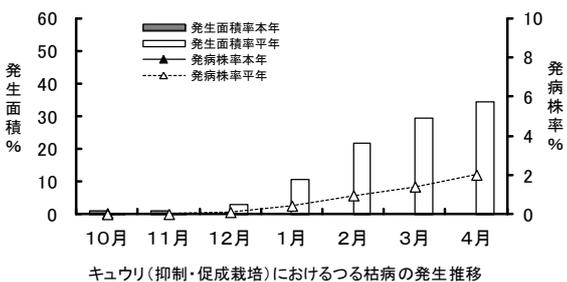
発生面積: 中央部; やや多、中西部; 少、西部; やや少



べと病、うどんこ病ともに先月からやや発生が増加しています。発病程度はそれほど高くありませんが、うどんこ病は中央部でやや多発生となっています。気温が低くなるため、12月からは特にべと病の増加に注意しましょう。

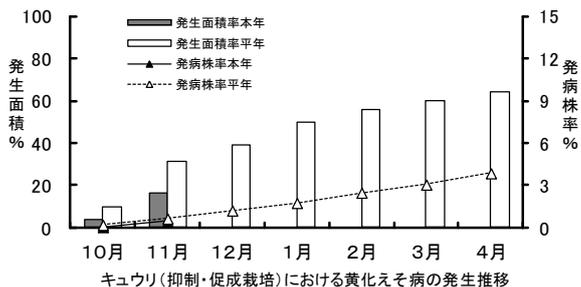
つる枯病 発生量: 多

発生面積: 中央部; 平年並、中西部; 少、西部; 多



黄化えそ病 発生量: 少

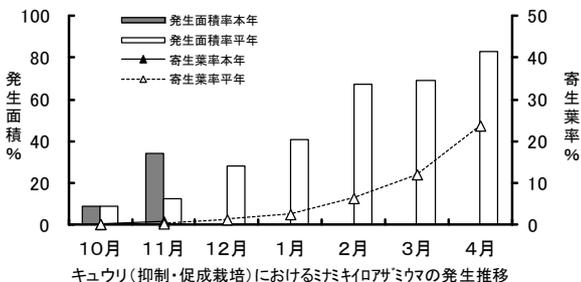
発生面積: 中央部; やや少、中西部; 少、西部; 少



県中央部、西部でつる枯病の発生が見られており、西部での発生は平年より多くなっています。黄化えそ病の発生は平年に比べて少ないものの、先月より増加しています。年内は罹病株を発見したら早期に抜き取りにより処分するのがよいと考えられます。

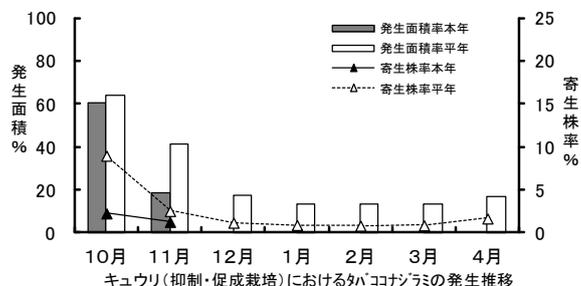
ミナミキイロアザミウマ 発生量: 多

発生面積: 中央部; 多、中西部; 少、西部; やや多



タバココナジラミ 発生量: 少

発生面積: 中央部; 少、中西部; 少、西部; やや少



県中央部、西部でミナミキイロアザミウマの発生が平年より広く見られていますが、現在は成長点付近に数頭見られる程度です。早期の防除を徹底しましょう。タバココナジラミの発生は先月よりも減少しています。寒くなると増殖も緩慢になるためあまり問題にはならないと思われます。

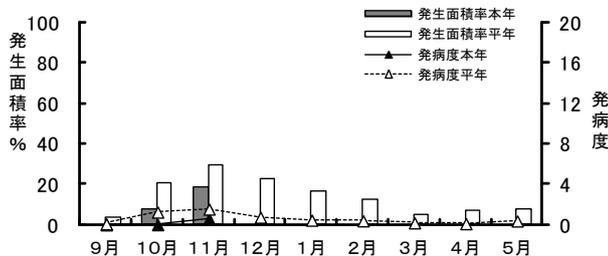
平成28年12月5日

高知県病害虫発生予察11月月報及び予報第9号(12月)
野菜類ダイジェスト版

● 促成ナス(東部・中央部・西部)

うどんこ病 発生量: やや少

発生面積: 東部; 少、中央部; 平年並、西部; 平年並

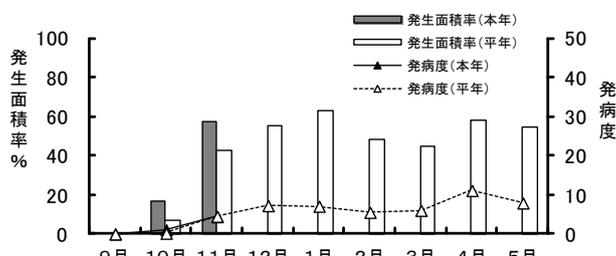


ナス(促成栽培)におけるうどんこ病の発生推移

先月よりは発生が増加していますが、県全域で平年並～少発生となっています。発病程度も低くなっています。

黒枯病 発生量: 多

発生面積: 東部; 平年並、中央部; 多、西部; 多

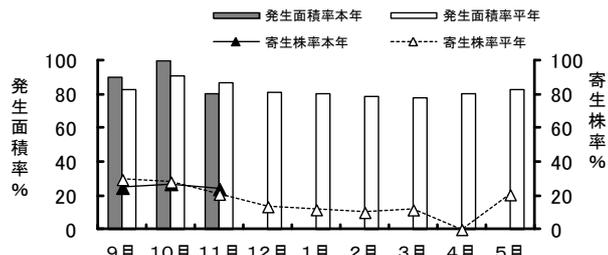


ナス(促成栽培)における黒枯病の発生推移

県中央部、西部で発生が多くなっています。現在の発生程度はそれほど高くないため、早期の防除を徹底しましょう。

タバコナジラミ 発生量: 平年並

発生面積: 東部; 平年並、中央部; やや少、西部; やや少

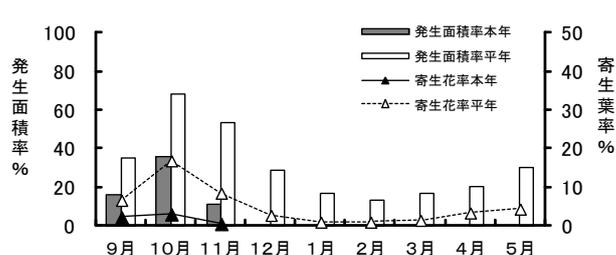


ナス(促成栽培)におけるタバコナジラミの発生推移

県全域で平年並～やや少なめの発生です。密度の高い場所はほとんど見られていません。

ヒラズハナアザミウマ 発生量: 少

発生面積: 東部; 少、中央部; 少、西部; 少

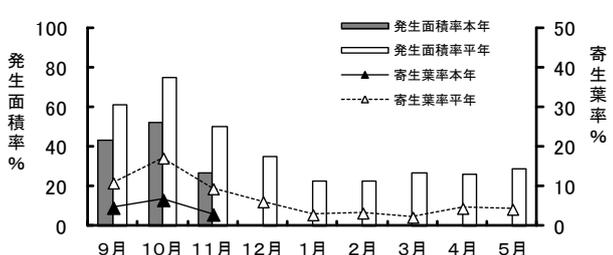


ナス(促成栽培)におけるヒラズハナアザミウマの発生推移

県全域で少ない発生となっています。

ミナミキイロアザミウマ 発生量: 少

発生面積: 東部; 少、中央部; 少、西部; やや少

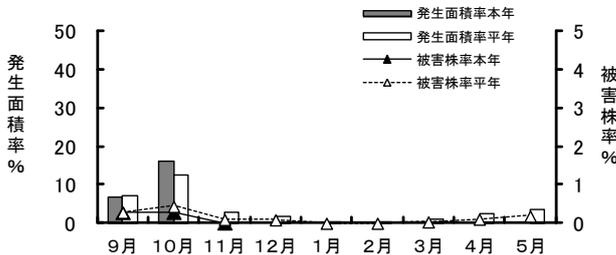


ナス(促成栽培)におけるミナミキイロアザミウマの発生推移

県全域でやや少～少発生となっています。密度の高い場所も見られていません。

ホコリダニ類 発生量: 平年並

発生面積: 東部; やや多、中央部; 少、西部; 少



ナス(促成栽培)におけるホコリダニ類の発生推移

県東部で平年よりやや多くの発生が見られています。秋期に発生の見られたほ場では、春期に再び発生が見られる可能性が高いため注意しましょう。

平成28年12月5日

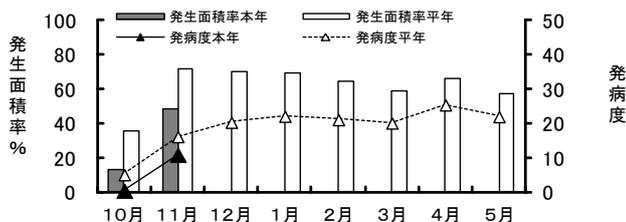
高知県病害虫発生予察11月月報及び予報第9号(12月)
野菜類ダイジェスト版

● 促成ピーマン・シシトウ(東部・中央部・中西部)

※ピーマンとシシトウでは登録薬剤が異なる場合があります。作物登録を確認し、使用するようしてください。

うどんこ病 発生量: やや少

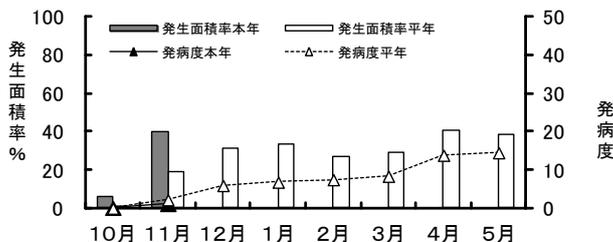
発生面積: 東部; 少、中央部; やや少、中西部; やや少



ピーマン・シシトウ(促成栽培)におけるうどんこ病の発生推移

斑点病 発生量: 多

発生面積: 東部; 平年並、中央部; 多、中西部; 平年並

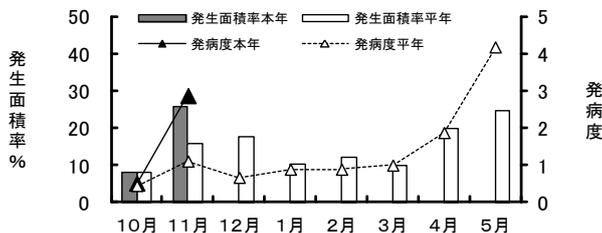


ピーマン・シシトウ(促成栽培)における斑点病の発生推移

うどんこ病は県全域で少なめの発生となっています。斑点病は県中央部で発生が多くなっていますが、現在の発病度は高くありません。初期防除を徹底しましょう。

黒枯病 発生量: やや多

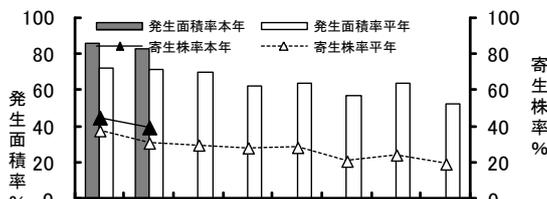
発生面積: 東部; 平年並、中央部; やや多、中西部; やや多



ピーマン・シシトウ(促成栽培)における黒枯病の発生推移

タバココナジラミ 発生量: 平年並

発生面積: 東部; やや多、中央部; 平年並、中西部; やや少



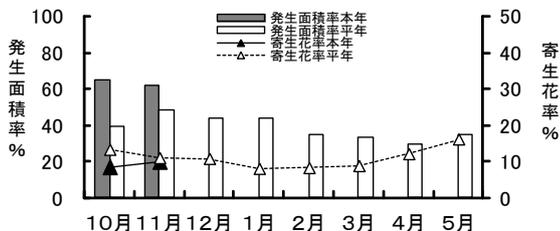
ピーマン・シシトウ(促成栽培)におけるタバココナジラミの発生推移

県中央部、中西部で発生がやや多くなっています。ほ場内で全体的に発病が見られるようなほ場も確認されています。

県東部で発生がやや多くなっています。すす病の発生はほとんど見られていません。

ミナミキイロアザミウマ 発生量: 平年並

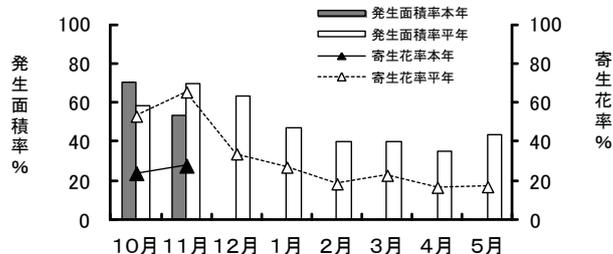
発生面積: 東部; 平年並、中央部; やや多、中西部; 少



ピーマン・シシトウ(促成栽培)におけるミナミキイロアザミウマの発生推移

ヒラズハナアザミウマ 発生量: やや少

発生面積: 東部; やや少、中央部; やや少、中西部; 少



ピーマン・シシトウ(促成栽培)におけるヒラズハナアザミウマの発生推移

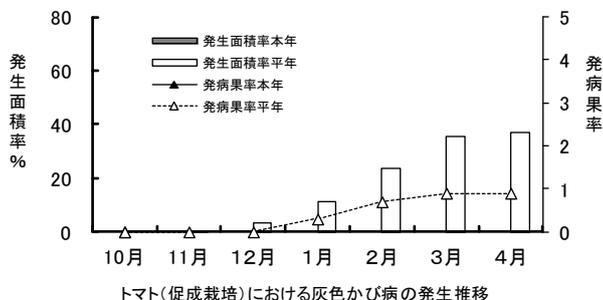
県中央部でミナミキイロアザミウマの発生がやや多くなっています。ヒラズハナアザミウマは県全域で少なめの発生となっています。

平成28年12月5日

高知県病害虫発生予察11月月報及び予報第9号(12月)
野菜類ダイジェスト版

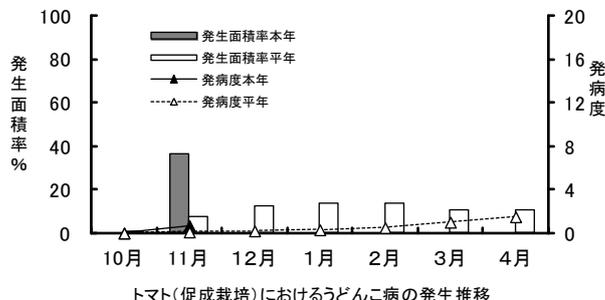
● 促成トマト(中央部)

灰色かび病 発生量:少



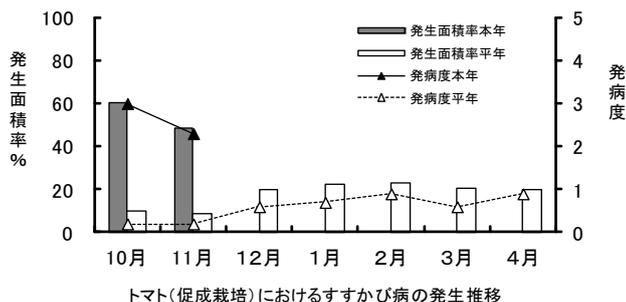
11月は発生が見られていません。毎年12月頃から発生が見られ始めるため注意しましょう。

うどんこ病 発生量:多

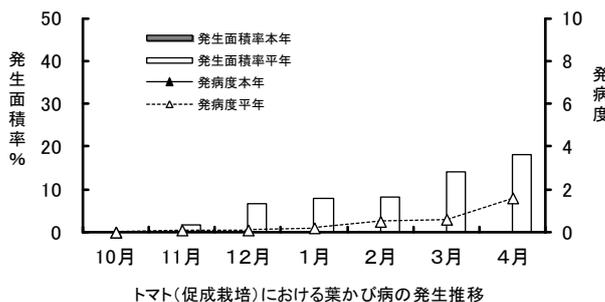


発生が多く見られています。現在の程度は高くありませんが、今後の病勢の進展に注意が必要です。

すすかび病 発生量:多

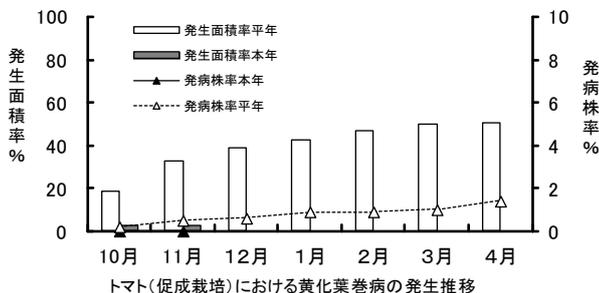


葉かび病 発生量:少

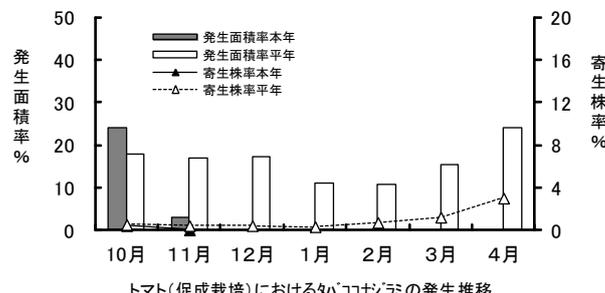


葉かび病はまだ発生が見られていません。すすかび病は先月よりは発生が減少しましたが、まだ比較的多くのほ場で見られています。しかし、発生程度は低く下葉に病斑がわずかに見られる程度のほ場がほとんどとなっています。

トマト黄化葉巻病(TYLCV) 発生量:少



タバココナジラミ 発生量:少



トマト黄化葉巻病の発生は平年に比べ少なくなっています。先月から大幅に発生が減少しています。現在の密度であれば、厳寒期の間は問題にならないと考えられます。サイドが開き出す2月頃からの発生に注意しましょう。